



春季全国火災予防運動 3月1日(日)～7日(土) もついいかい 火を消すまでは まあだだよ(平成26年度全国統一防火標語)

昨年、市内では131件の火災が発生し、そのうち64件が住宅を含む建物火災でした。火災全体の出火原因をみると、放火(疑いを含む)、たき火、こんろが上位を占めています。住宅火災では放火(疑いを含む)、こんろ、たばこが出火原因の上位を占めています。火災を減らすため、次のことなどを心がけましょう。

防火の習慣を身に付けよう

- **こんろ** 使用中に離れる時は、必ず火を消す
- **たばこ** 灰皿には水を入れ、寝たばこは絶対にならない
- **ストーブ** 燃えやすいものを近くに置かない
- **防火の対策をしよう**
火災による被害を最小限に食い止めるために、次の住宅用防災機器などを積極的に活用しましょう。

住宅用火災警報器

火災の発生をいち早くキャッチして知らせます。一般住宅で設置が義務付けられている場所は、寝室・階段(2階以上に寝室がある場合に必要)・台所です。また、高齢者や障害者を対象にした支援制度があります。詳しくはお問い合わせください。

住宅用消火器

火災の初期消火

に効果を発揮します

- **防災品(カーテン、じゅうたん、ふとんなど)** 火が触れても燃えにくい特長をもっています
- **安全器具** 安全装置がついている暖房器具と調理器具で火災を未然に防ぐことができます
- ※市の職員、消防署員が販売点検を行うことはありません。悪質な訪問販売・点検にご注意ください

放火されにくい環境をつくらう

- 建物周囲には、燃えやすい物を置かない
- ごみは決められた日の朝に決められた場所に出す
- 物置、車庫には、きちんと施錠する

主な事業

■わいわい消防広場

とき 2月22日(日)午前10時～午

後1時 ところ 向山緑地内梅

- **内容** 林園(つめまつり会場内)
- 消防本部イメージキャラクター「ヒケッシー」・消防団イメージキャラクター「ワットくん」との写真撮影コーナー、消防音楽隊とホワイトシーガルスによる演奏・演技など



豊橋市消防音楽隊とホワイトシーガルス

■その他

- 市内一斉にサイレン吹鳴(午後8時)
- 火災予防用懸垂幕の設置
- 市内路面電車内防火ポスター掲示
- 高齢者世帯などの防火診断
- 消防訓練・防火査察

■老朽化した消火器の廃棄について

● **廃消火器リサイクルシステムの活用**

(株)消火器リサイクル推進センターが運用する「廃消火器リサイクルシステム」により、どのメーカー品も市内に15か所ある特定窓口で回収できます。消火器を廃棄する際は、豊橋消防設備業者窓□代表(東海消防設備(株) ☎48・5611)のほか、お近くの消火器販売業者や各消火器メーカーへ問い合わせるか、(株)消火器リサ

問い合わせ

消防本部予防課
(☎51・3115)



イクル推進センターホームページ(<http://www.fepcc.jp>)で取扱事業所を確認して依頼してください。

■消防署での回収

とき 2月28日(土)～3月8日(日)
※市役所予防課は土・日曜日は不可 **ところ** 市内各消防署
市役所予防課(西館5階) **対象** 持ち込み可能な粉末消火器(個人所有の10型以下のもの。大型は不可) **費用** 1本1千円



ヒケッシー

わくわく活動ひろば

NPO法人てら

不登校や引きこもりの解消、また子どもたちのコミュニケーション力をつけるために、花園商店街でマルシェに参加してきました。クリスマスイベント、夏の夜店など、一つ一つの体験を通して子どもたちは確実に自信をつけています。自分たちでどんなもの売るかを計画し実際に接客をする中で、はじめは学校に行けず、うつむいて元気がなかった子どもたちも、次第に元気を取り戻し、一人また一人と復学していききました。

今年度は、市民協働推進補助金を受け、12月6日に「まち暖 in 花園」に参加しました。この活動では、愛知大学生をはじめ地域の方や高齢の方も加わり、花園商店街が市民の温かい憩いの場となるように計画を立てました。当日は底冷えのする寒い日となりましたが、花園商店街に子どもたちの「いらっしやいませ」という元気な声が響きました。夏の合宿でできるようになった五平餅づくり体験と販売、松ぼっくりを加工したクリスマスツリー作り体験、豚汁販売など、手作り感満載のイベントでした。終わった後、イベントを最後までやり通した満足感で、子どもたちの笑顔が輝いていました。



「まち暖 in 花園」に参加しているようす

このようなイベントによつて、一人ひとりが達成感を持ち、社会復帰の一步になってくれることを願っています。

問い合わせ NPO法人
てら 中村(☎39・3007)

トヨッキー基金への寄附は、随時受け付けしています。この基金への寄附は税金の優遇措置があります。詳しくは市民協働推進課 ☎51・2483 <http://www.city.toyohashi.lg.jp/5230.htm>

【寄附累計】
6,376,001円(平成19年度から)
552,438円(平成26年度受入分)

再発見！丸山薫

夕暮

洋燈ランペンを点けると

洋燈はすぐに叫んだ

——むこうの闇が見えない

見えない

むこうの闇に置くと

なお大声で喚わめいた

——いま居た所が暗くなった

暗くなった

蝙蝠こうもりが笑った



丸山薫

※新編丸山薫全集は中央図書館で貸し出しています。「夕暮」は第一巻に収録されています

詩人 丸山薫の没後40年を記念して薫の作品を毎月紹介していきます

「夕暮」について

ランプを点すと周囲の闇が濃くなります。ランプの弱い光では見えない範囲も限られます。見えないことが不安をかき立てます。「むこうの闇が見えない」とランプは思わず叫んでしまします。その闇の中にランプを移すと、今度は先程まで明るかった場所が、闇に包まれてしまいます。ランプはいつぞう不安になります。つまり、このランプはいつも不安にかられているのです。この詩ではランプが擬人化されていますが、単になぞらえているのではなく、自分の心、あるいは広く現代人の心の在り方を重ねて見ているのです。将来が見えず、常に不安に震えている心。こもりは鼠ねずみのような顔をして、鼠間は暗い所にひそみ、夕暮れの空を飛び回りますが、鳥類ではなく哺乳類の仲間です。ちよつと正体不明な存在です。ランプが自分や現代人の心なら、こもりは時代、あるいは俗世間の表現ということになるでしょう。

解説 飛高隆夫さん(大妻女子大学名誉教授・丸山薫賞運営委員会委員)

問い合わせ 文化課(☎51・2874)

豊橋市内の平成26年12月の交通事故(人身)

[]は平成25年12月、()は平成26年の合計

- 件数 290件 [280件] (3,115件)
- 死者 3人 [1人] (19人)
- 傷者 341人 [332人] (3,875人)

※夜間はスピードを落とすなど十分注意して運転しましょう

豊橋市の人口と世帯

(平成27年1月1日現在)

- 人口 378,890人(前月比17人増)
[男190,024人/女188,866人]
- 世帯 151,547世帯(前月比73世帯増)

※このうち外国人は13,621人/6,663世帯

今月の納税

固定資産税 第4期分
国民健康保険税 第8期分
納期限 3月2日(日)

早めにお近くの金融機関、ゆうちょ銀行・郵便局またはコンビニエンスストア(バーコード印字のある納付書のみ)で納めましょう。納税には手間のかからない口座振替の制度が便利です。

問い合わせ: 納税課(☎51・2235)